

# さとう小児科クリニック

神奈川県横浜市港北区日吉6-1-20  
TEL.045-564-3717 FAX.045-560-3161

院長・医学博士  
佐藤 雅彦 × インタビュアー  
角 盈男  
[野球評論家]



## 小児科専門に歩んだ経験を生かし 地域の小児医療に貢献する

**角** こちらのクリニックは開業されてまだ日が浅いそうですね。

**佐藤** ええ、平成十九年十月に開院したばかりです。私は大学卒業後、約二十年にわたり北里大学病院や横浜労災病院において小児科専門医として経験を積み重ねました。そして、地元である当地の地域医療に微力ながらも貢献できればと開業に至った次第です。院内は車椅子、ベビーカーのまま入れるようエレベーターを設置、バリアフリーとして来院される方々に負担が掛からぬよう数々の配慮を施しています。  
**角** そもそも院長が医師を目指された理由と伺います。

**佐藤** この地で四十年前前に開業し、現在も診療を続けている父の影響が大きいのと思います。父は私に対して医師の道を勧めたわけではありませんが、自然と同じ道を歩んでいました。

**角** 昨今は小児医療の現場で救急医療の破綻や医師不足が報じられています。

**佐藤** 医師の中でも特に過酷な分野で、夜も時間外もなくそのあたりが小児科医の疎遠される要因となつていきます。確かに「家でゆっくり眠れるほど最高の幸せはない」と思った時期もありました(笑)。

**角** そのように大変な小児科を選択され、より厳しい新生児や未熟児治療が専門とお聞きしています。

**佐藤** 北里大学病院のNICU(新

生児集中治療室)を拠点として、その後もハンディキャップを背負ったお子様達の発育や成長のお手伝いをさせて頂いた経験があります。それを開業医として地域の皆様のために生かしていく覚悟です。確かに大変ではありますが、その反面楽しくもあり、新しい命の誕生に立ち合える感動や回復力の早さには驚くばかりですよ。

**角** 院長の思いの強さは患者様の安心感に繋がることでしょうか。

**佐藤** 父が四十年來そうだったように当クリニックでは日曜日も診察し、WEBでの予約制を導入するなど便利に利用して頂けるよう努力しています。まだスタートしたばかりですが、今後は三階にある多目的のルームを利用して栄養相談・育児相談、また子供の病気についての講演会などを開催することで更に地域の方々の健康や健やかな成長のお力添えができればと思います。  
**角** ご自身のお体にも充分留意してお楽しみ下さい。

